

島の禁忌

地元の住民は沖ノ島を「神宿る島」、「神秘の島」、「不言様」など様々な名称で呼んでいます。沖ノ島で守られてきた禁忌が島の神秘性と遺跡の完全な保全に役立ったことは間違いありません。同島で発見された数万点もの奉獻品から立証されているように、古来には沖ノ島が信仰の重要な場所でした。

沖ノ島への一般の立ち入りは現在でも禁止されています。日本の他の重要な聖地と同様に、沖ノ島の清らかさを維持することは、文字通りにも象徴的にも優先事項です。例えば、島から物を持ち出すことを禁止することで島の自然環境を維持することに加えて、入島を許可された人は、禊 と呼ばれる儀式で裸で海に浸かり、身を清めることが義務付けられています。島内での行動についても、徹底した秘密保持を誓わなければなりません。